

行政評価シート(事後評価)

コード 7-2-4	事務事業名 西東京市農業ブランドの確立(キャラクターの活用)	所管部課 生活環境部産業振興課
--------------	-----------------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等	
	身近で安全な農産物を求める市民と収益力向上を目指す農業者の要望に応えるため、堆肥づくりの検討、西東京市産のブランド化、共同直売等、農業経営形態や規模に応じた流通販売体制の検討等を行う。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乘せ補助額・市単独補助額)等		
	西東京市農産物のブランド化を図る一環として、キャチフレーズ「市民と農家の宝物」「けやきの里のめぐみです」とキャラクターの愛称「めぐみちゃん」を一般公募し、決定した。これらは、西東京市農業振興計画に基づき、「農家と市民が育てる豊かな農業 西東京」をテーマに、市内で生産された、身近な西東京市産の農産物(個別品種ではなく、農産物全体)をイメージさせるものである。特に、キャラクターの「めぐみちゃん」については、西東京市の地産地消を推進し、安全・安心の西東京市産農産物のシンボルマークとして活用する。		
事業開始時期	17年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
事業費(A)		403		0	4,179
財源:国庫支出金・都支出金					2,000
財源:地方債	千円				
財源:その他 ()					
財源:一般財源		403	0	0	2,179
所要人員(B)	人	0.04	0.004	0.004	0.09
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	327	35	35	734
臨時職員等賃金(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	730	35	35	4,913
単位当たりコスト (E)=(D)/ (キャチフレーズ・キャラクター・ブランドを宣伝した媒体数)	千円	365	12	12	1228

活動等指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
キャチフレーズ・キャラクター・ブランドを宣伝した媒体数	実績値 媒体	2	3	3	4
《指標の説明・数値変化の理由 など》 平成17年度に、農産物マップ20,000部、のぼり旗150枚、平成18年度に、市民課サービス封筒112,000枚を作成した。平成20年度には、流通促進用資材(野菜・果物用防曇加工フィルム及び野菜用結束テープ)を作成する予定である。					
	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
一 次	目標値				
	実績値				
二 次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 都市農業は食の新鮮さ、安全性、農地の保全の観点からの市民の期待が高く、地域での流通・販売(地産地消)の促進が求められており、そのシンボルとしてキャラクターの「めぐみちゃん」を活用し、ブランド化のマークとしての「めぐみちゃん」を定着させる。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	西東京市農業振興計画策定委員会調査報告書(平成15年3月策定)によると、57%が「農業を使わない環境に配慮した農業」、52%が「学校給食・直売所等への新鮮で安全な野菜の供給」を希望するとの回答があった。また、「市内で生産された農産物を食べたいと思うか」との質問に対し、31%が「ぜひ食べたい」、52%が「できれば食べたい」と回答しており、合計すると83%の市民が地産地消を望んでいる結果となっている。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	小平市では、「畑からまっしぐら」というシンボルマークを、出荷箱、結束テープ、販売袋、のぼり旗等に付け、地域ブランドとしている。その他、稲城市の梨、練馬区のイチゴ、立川市のウド、小平市のブルーベリーなどがある。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	JA・生産者・市民(消費者)の協力が必要である。また、商標登録について、10年ごとの更新が必要である。

コード 7-2-4	事務事業名 西東京市農業ブランドの確立(キャラクターの活用)	所管部課 生活環境部産業振興課
--------------	-----------------------------------	--------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成20年度に行う『農業振興計画』後期5か年の見直しの中で、今後のキャラクターの効果的な活用方法を再度検討し、今後の事業に反映したい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>「めぐみちゃん」の市民への知名度が低いように思われる。このため、まず、キャラクターの存在をより市民にPRするなど、「めぐみちゃん」を西東京市産農産物のシンボルとして定着させることが肝要である。これらのPRなどを行いながら、平成20年度に行う『農業振興計画』後期5か年の見直しの中で、キャラクターの効果的な活用方法を再検討し、今後の事業に反映されたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>商標登録を行ったオリジナルのキャラクターである。独自の取組としての評価を得るよう、市内農業従事者はもちろん、市内外を問わず広く購買者たる市民に認知されるような活用方策について検討されたい。</p>